

報道関係者各位

2026年1月14日  
株式会社アプティグローバル

より学びやすく、安全・便利に暮らせる社会づくり  
**インドネシアの道路を整地、渡し船を寄贈**  
**整備と日本語が学べる「専門高等学校」初設立（※）に先立ち地域貢献**

自動車業界向けに特定技能人材の紹介を行う株式会社アプティグローバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役：井田秀明）は、インドネシアに、自動車整備や日本語などを3年間学ぶことができる同国初の専門高等学校を、2026年に開校します。それに先立ち、通学、そして地域全体の交通の便を改善するため、2025年12月に渡し船を寄贈し、渡船場周辺の道路を整地しました。

（※）正式な教育課程として日本語と自動車整備を学べる高等専門学校はインドネシア初です。



寄贈した渡し船。これまで有料だった運賃も無料に

### 地域の安全安心と活性化に貢献

当社が専門高等学校（※2）『SMK UPTY GLOBAL（エスエムカー アプティグローバル）』を設立するのは、インドネシアのランブン州東ランブン県ワイブングル郡カリパシール村です。

空港や町からカリパシール村に行くには、大きな川を渡る必要があります。しかし、自治体による橋の建設は約30年間止まっており、住民は1隻しかない有料の渡し船に頼っています。また、渡船場の周辺は整地されておらず、ぬかるみで車が動けなくなってしまうことも日常茶飯事でした。

『SMK UPTY GLOBAL』開校後には、生徒や講師をはじめとする、新たな人の出入りが見込まれます。通学や生活の利便性、そしてすべての住民の安全安心のために、当社は村に渡し船1隻を寄贈し、渡船場周辺の整地を行いました。

（※2）SMKは、インドネシア語で専門学科を持つ高校を指し、日本の「商業高校」に該当します。

## 寄贈の背景

カリパシール村は、バンダールランプン空港から車で 2 時間強。途中で村境の大河（バタンハリ川）を越えますが、陸路はなく、唯一の交通手段は渡し船です。かつては橋の建設を目指したもの、実現せず、作りかけの橋げたが約 30 年間放置されたままとなっています。

乗船時間は 10 分程度ですが、車 2 台でいっぱいになる小型船 1 隻で往復を担っているため、乗船まで 1 時間以上待つことも珍しくありませんでした。

運賃は、1 名片道 10,000 ルピア（約 94 円）、車 1 台片道 50,000 ルピア（約 469 円）。

ほとんどが農業従事者という村の人々にとって決して安くはなく、行動の妨げとなっていました。

また、乗船前に車がスタックするなど、渡船場周辺が整地されていないことも大きな課題でした。



（画像左）約 30 年間放置されたままになっている、作りかけの橋げた  
（画像右）バタンハリ川を渡る古い渡し船。車 2 台と数名しか運べなかった

## 寄贈後の変化

寄贈した船の積載量は、従来の 2 倍以上。現在、寄贈した船 1 隻、従来の船 1 隻が運航しており、往復を待つ必要がなくなりました。寄贈した船の運賃は、人・車ともに無料です。また、渡船場周辺の道路を整地し、緊急車両や大型車両も安全に通れるようになりました。

橋の建設に関しては、開校決定当初より東ランプン県政府が進める方向で合意していますが、今回の当社の貢献により、さらに具体的かつ速度をもって実現していく見込みです。住民からは「ずっと孤立して不便だったが、行動範囲が広がるのが嬉しい」との声があがっています。



（画像左）整地前。スタックした車を人々が押す風景もよく見られた  
（画像右）整地後。パトカーなどの緊急車両も迅速・安全に移動できるようになった

## 『SMK UPTY GLOBAL』について

『SMK UPTY GLOBAL』は、学生寮を併設した専門高等学校で、中学を卒業した学生が3年間、日本語、自動車整備、板金塗装、二輪車整備などを学ぶことができます。これまで、正式な教育課程として日本語と自動車整備を学べる高等専門学校はインドネシアになく、今回が初の開校となります。

また、専門高等学校でしっかりと学び日本企業から内定が出た生徒は、卒業後、「日本語と自動車整備ができる特定技能人材」として日本で活躍することもできます。日本就業に関しては、外資系企業として初めてP3MI（インドネシア政府認定・人材紹介事業者）の資格を持つ当社が、企業面接から雇用契約、送り出し、日本で就業後のサポートまで、中間業者を一切介さずに責任をもって行います。

なお、当社は、特定技能人材を育成する『アプティグローバルトレーニングセンター』をバンدون市で運営しています。『SMK UPTY GLOBAL』は、当社がインドネシアで特定技能人材育成のために新設する、2つめの施設となります。

当社は今後、学校周辺に、食品・日用品・飲食などの店舗、医療・福祉などの施設の誘致も視野に入れ、教育を通じた地域振興のモデルケースとなることを目指し、引き続き貢献してまいります。

### 【会社概要】

社名	株式会社アプティグローバル
代表	代表取締役 井田秀明
本社	東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル7F
サイト	<a href="https://upty-global.com/">https://upty-global.com/</a>
創業	2019年12月
創立	2024年7月
資本金	3億4,000万円
従業員数	15名
事業内容	外国人採用支援事業 在留資格申請代行事業 損害保険代理店事業 海外進出コンサルティング事業 各種セミナー、イベント等の企画、開催、運営及び管理

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

株式会社アプティグローバル

広報：毛利

TEL：03-6693-9774 MAIL：global@upty.jp

## 参考資料：株式会社アプティグローバルについて

### 日本になじむ特定技能人材 輩出の背景

当社は、インドネシアで、自動車整備学校、日本語学校、そしてP3MI（政府認定の職業紹介事業者）を運営しています。自動車整備士として日本に就職したい若者を募り、技術・語学・文化を徹底教育し、特定技能人材として日本の企業に紹介・雇用契約締結の仕組みを確立しました。来日前に教育課程や文化学習を修了しているため、当社から就職した人材は、「日本語ができ、日本の生活にもなじむ整備士」として入社後すぐに現場で活躍しています。

### 「自動車業界にインドネシア人材」の理由

自動車は日本の基幹産業でありながら、それを支える整備士などの人材不足が深刻な課題となっています。自動車整備学校の入学者数は年々減っており、国内の人材だけで整備士をまかなうことが困難な状況です。

そこで、当社は海外の人材に着目。中でも、もっとも親和性の高い国がインドネシアでした。インドネシアは日本に対する評価や敬意が高く、「日本に就職したい」と希望する人材が多い国です。国民性は、忠誠心が深く、勤勉で明るく穏やか。また、インドネシア語と日本語は類似性が高いため上達しやすく、交通ルールも「右ハンドル、左側通行」と日本になじみやすい環境です。

### 当社ならではの特長

#### **【自動車業界初！（※）ワンストップで即戦力を採用】**

当社は、自動車業界で初めての、一社完結型インドネシア人材紹介事業者です。人材募集、教育、雇用契約、出入国手続き、日本でのサポートまで、当社が責任をもって行います。一般的な外国人材サービスは間に複数の業者が入りますが、当社ではすべて内製で、他社は一切関与いたしません。中間業者トラブル等のリスクを防ぎ、責任の所在が明確です。

#### **【自動車業界唯一！（※）手厚いアフターフォロー】**

当社は、自動車業界で唯一、人材が日本で就業後にも定着サポートを徹底しています。特定技能外国人の受け入れには10項目の支援が義務付けられていますが、当社ではさらに定着と安心を促すべく、プラス7項目を独自で実施しています。日本に就職することをゴールと考えず、特定技能人材が企業や地域になじみ、安心して暮らし、自信をもって活躍できるための取り組みです。

- ①特定技能外国人総合保険の加入
- ②運転免許切替支援
- ③日本語学習の継続（月2回×40分）
- ④企業様へのレポート提出（月2回）
- ⑤定期面談（企業様・人材ともに毎月）
- ⑥新鮮野菜ボックスのお届け（月1回）
- ⑦母国語・日本語での24時間サポート

※当社調べ（2026年1月現在、自動車業界に特化したインドネシア特定技能人材紹介会社として）

当社は今後、10万人を日本企業の活躍人材とすることを目指し、自動車産業の発展に貢献してまいります。